

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【縦 割 り 班 活 動】	常時清掃活動を、今年度5月より学級単位から縦割り班単位で行っていくことにした。班ごとに6年生を中心に清掃分担を行い、清掃グループごとに清掃の準備、片付け、号令を行った。 愛校作業として、縦割り班ごとに分担を行い、各班ごとに落ち葉はき、除草作業などを行った。 成果 ・高学年の児童は、下級生に清掃方法を教える、清掃に誘うなど優しく面倒をみることや良き手本となろうと意識する姿が見られた。 ・高学年の下級生に優しく接する姿を見て、中低学年の児童も自分たちよりも下級生には、優しい言葉で親切に教える姿が見られるようになってきた。 ・色々な教師や上級生に褒められて嬉しいとより頑張ろうとする児童もいる。 ・休み時間に他学年も交じって仲良く遊ぶ姿が見られるようになってきた。 課題 ・縦割り班の各担当の教師が中心に様々な児童たちに接するため、普段から情報の共有を密にすることが適切な支援指導につながっている。
2 実践2 【コンプライアンス研修（職員研修）】	月1回、コンプライアンス研修を行っている。その中で、SNSの不適切な使用（6月）、言語環境から考える人権教育（8月）、体罰・不適切な指導の根絶（アンガーマネジメント）（9月）、人権尊重について（ハラスメント）（10月）、性的マイノリティ研修（11月）、わいせつ行為の根絶（1月）など人権に関わる研修を行った。17の人権課題やLGBT、「いばらきパートナーシップ宣誓制度」など、人権に関する最近の動向についての知識理解を深めた。コンプライアンス研修においても、児童の人権を尊重した教師のことばかけや、保護者・地域住民の人権を尊重した教師の言葉かけについて、職員全員で考える機会を設けた。 成果 人権感覚チェックリストを用いて、家庭や職場での自分の言動や日頃何気なく使っている言葉を改めて見直す機会を設けたことで、教職員一人一人が自己の生活を振り返るよい機会となった。 課題 子供たちの人権感覚を高めていくには、教職員の人権意識の高揚が不可欠である。校内研修などをさらに充実させて、継続的に人権感覚を高めていきたい。